News & Topics

多古町議会では、定例会や臨時会での本会議や委員会のほかに、日ごろから視察・研修や近隣議会との連携、イベントへの参加など、幅広い活動を行っています。ここではその一部をご紹介いたします。

11月 11

芝山町議会・多古町議会連絡協議会

圏央道の早期完成を強く要望

多古町、芝山町の議会正副議長、町長は国土交通省関東整備局千葉国道事務所長、東日本高速道路株式会社（NEXCO東日本）千葉工事事務所長に対して、地域住民からの意見をまとめた「意見書」及び９月定例会で可決された、「圏央道（大栄・横芝間）の早期完成等に関する決議書」を提出しました。そして、圏央道の一日も早い完成と、成田国際空港の更なる機能強化により新設される、第３滑走路に近接した箇所に休憩施設を設置することを強く要望しました。

※圏央道（大栄・横芝間）の早期完成等に関する決議書の内容は、議会だより第102号（10頁）をご覧ください。

12月 13

南玉造崩落事故現場視察

議員全員で現場を視察

本会議開会前に、令和３年６月９日に発生した南玉造盛土崩落事故現場を共通の認識とするため、議員全員で視察し、担当課から現在の状況や対応等について話を伺いました。今後の動向を議会として注視していきます。

傍聴を再開しました！

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月定例会より傍聴はご遠慮いただいていましたが、令和３年11月臨時会より傍聴を再開しました。傍聴席の一部使用制限等がありますが、傍聴は可能となっていますので、ぜひ多古町役場３階議場までお越しください。

傍聴をされる方へお願い

- 発熱やせき等で体調がすぐれない場合は、入場をご遠慮ください。
- 感染予防のため、マスクの着用をお願いします。
- 傍聴席の一部の使用を制限しています。間隔をあけて着席をお願いします。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、傍聴をご遠慮いただく場合があります。
詳しくは町ホームページをご覧ください。

議会広報特別委員がインタビュー

わが町フロントランナー case 12

【橋爪美和さん】南中在住・22歳。
この春に大学を卒業し、看護師として働く予定です。これまでの経験を生かし、臨機応変に対応したいです。

【平山裕望さん】新町在住・22歳。
４月から、社会人としてリハビリ関係の仕事に就く予定です。JLでの経験やスキルを生かし、患者様に寄り添えるようなリハビリを提供できるよう頑張ります。

多古町にお住まいの「その道」をひた走る方々にお話しを伺ってみると、そこには新しいまちづくりや町を元気にするヒントが…。

若者の力で町を元気に！

――年齢を超えて交流できる場所～ジュニアリーダー

Q※ジュニアリーダー（以後「JL」という）に参加したきっかけは？

A 地域の大人の方に誘われて参加しました。そこで、たくさんの新しい出会い、触れ合いがあり、楽しく遊ぶ感覚だったので「楽しい！」ってなりました。（笑）

※ジュニアリーダー…子供会を中心に地域活動を行う青少年（主に小中学生から大学生）。

Q活動内容は？

A 当初の活動は、お泊り研修や子どもフェスタといった事業でしたが、今では私たちがキャリアを積んで、仲間も増えたことで、自分たちで企画提案をして、新たにクリスマス会も開催できるようになりました。小学校高学年から大学生までのメンバーでワイワイ、ガヤガヤ…。（笑）楽しくやらせていただいています。

Q活動のセールスポイントは？

A コミュニケーション能力が上がります！子どもたちばかりではなく、一緒に活動する※機会が多い青子の大人たちや、他市町村のJLとの交流もあり、幅広い年代や地域の方々と触れ合う機会があるからだと思います。人前で積極的に話もできるようになりました。また、どうしたら参加者に楽しんで笑顔になってもらえるかを考えて、みんなで実現することも楽しみながらできるところです。

※青子…「青少年相談員」と「子ども会連絡協議会」の略称。

Q課題や問題点はありますか？

A 指導の難しさと次の世代への引継ぎがあります。そのために、まだまだスキルを向上させたいと考えています。その他には、町外へ通学しているメンバーの参加率が下がること、また、そうなるとなかなか復帰も難しいことです。町へは、学校活動後に多古へスムーズに戻ってこられる交通インフラを検討していただきたいです。それと、少子高齢化！私たちの世代よりさらに児童年代は減っていて、参加人数やJLメンバー確保も今後はさらに難しくなると思います。

Qこれからの展望は？

A JLメンバーの人数を増やして、活動の幅を広げたいです。子どもだけでなく、保護者の方も一緒に参加できるものや、他の団体や地域とのコラボ企画等々、チャレンジをしながら多古町を元気にしていきたいです。

~interviewer's eye~

キラキラとした希望に満ち溢れたまなざしで活動し、インタビューに応えてくれた若者たちに多古町の将来へのバトンは間違いなく引き継がれます。うまく引き継ぐためにも、少子化問題や交通インフラなど、我々大人が問題解決に向けて取り組む責任があると痛感しました。

ダイヤモンドはダイヤモンドでしか磨けない。夏目漱石先生が森鴎外先生と福沢諭吉先生に言ったとされる言葉が思い出された。人は人によって磨かれるとする例えだ。社会教育活動は、地域が人を繋ぎ、人をつくる活動だと感じ、町を盛り上げようと奮闘する若者たちにスポットをあてました。

（飯田良一委員）